

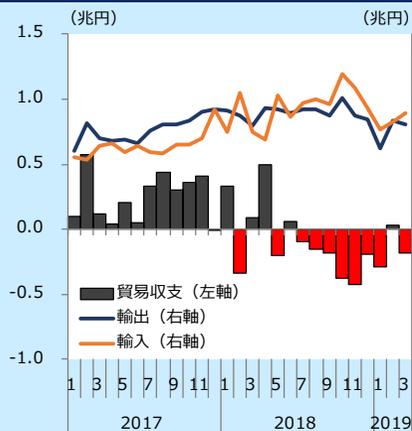
日本：貿易統計（2019年3月）

—実質輸出はアジア向けを中心に減少傾向が継続—

MRI Daily Economic Points

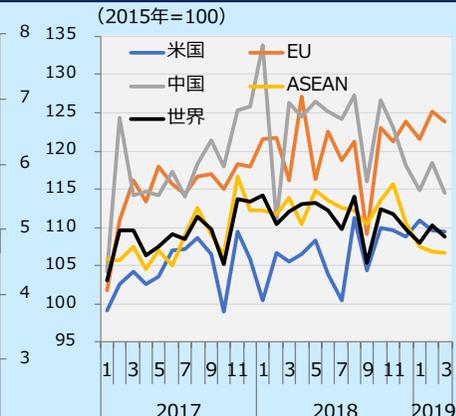
April 18, 2019

貿易収支



出所：財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」より三菱総合研究所作成

実質輸出：国別



注：当社計算による実質・季節調整値。

評価ポイント

今回の結果

- 19年3月の貿易収支（季節調整値）は、▲1,778億円と、2ヶ月ぶりに赤字となった。名目輸出は前年比▲2.4%と、4ヶ月連続で減少した。名目輸入は同+1.1%と、3ヶ月ぶりに増加した。
- 実質輸出（三菱総合研究所の計算による季節調整値）は、前月比▲1.4%と2ヶ月ぶりの減少となった。実質輸出を四半期ベースでみると、19年1-3月期は前期比▲2.1%と、プラス成長となった18年10-12月期（同+1.5%）から再び減少に転じた。
- 3月の実質輸出（季節調整値）を国別でみると、中国（前月比▲3.4%）、EU（同▲1.1%）、ASEAN（同▲0.2%）、米国（同▲0.1%）など幅広い国・地域で減少した。中国向けは、米中貿易摩擦の影響や景気減速などを背景に、はん用・生産用・業務用機器や輸送用機器が減少し、全体を押し下げた。米国向けは、輸送用機器が2ヶ月ぶりに増加した一方で、18年末に大幅に増加した化学製品の反動減などにより、全体としては減少となった。
- 半導体製造装置の実質輸出は、世界的な半導体関連需要の調整による影響から、韓国向けや中国向けを中心に前年比▲9.5%と5ヶ月連続で減少し、減少幅も前月から拡大した。

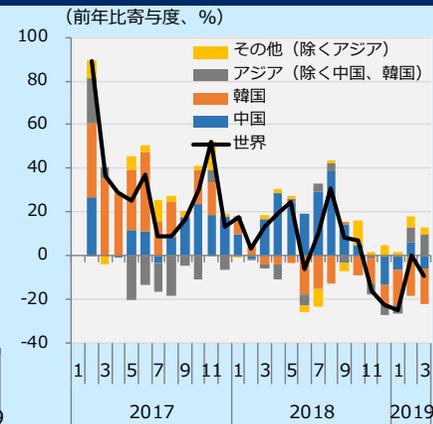
実質輸出：品目別



注：当社計算による実質・季節調整値。

出所：財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」より三菱総合研究所作成

半導体製造装置の実質輸出



基調判断と今後の流れ

- 輸出は、海外経済の成長減速などを背景に、18年後半以降、緩やかな減少傾向にある。
- 先行きの輸出は、中国経済の減速傾向が続くなか、半導体関連需要の調整継続や、減税効果のはく落による米国経済の減速などが加わり、19年後半にかけて緩やかな減少が予想される。
- 下振れリスク要因として、①米中貿易摩擦の激化による米中経済の一段の減速や、②交渉が本格化した日米物品貿易協定（TAG）による対米輸出環境の悪化、が挙げられる。